



日常管理

熱中症対策

夏場の熱中症発生を抑制するべく、過去の発症者の要因分析とアンケートなどを基にアクションプランを立ててPDCAを回し、会社と労働組合で手を携えて対策を強化しています。

新たに工場で勤務する従業員の受け入れ時に、熱中症の基礎知識を教育しているほか、全従業員に対して毎年4月から秋口にかけて時節ごとに注意すべきポイントをパソコンの啓発画面や各資料、社内放送でリマインドしています。

＜熱中症予防の啓発画面＞

のどが渇く前に、こまめに水分・塩分を摂取しましょう！



- ・水分摂取は1日2L以上とる。汗をかくと水分と塩分が体から出て行ってしまうので、**水分だけでなく、塩分も合わせて摂取！**
- ・起きてから作業開始までにイオン飲料500mlまたは水500ml + 塩飴2個or塩タブレット/塩サプリ4個をとる。
- ・前日飲酒された方は脱水になりやすいため、普段より多く水分塩分を摂取しましょう！



食事は3食
とりましょう！

- ・朝食は確実にとる。
- ・バランスの良い食事にする。



8月の連休中も
運動を！

- 「やや暑い」環境で
- 「ややきつい」運動を
- 1日30分間×4回/週 実施！**



睡眠を十分に
とりましょう！

- ・6時間以上睡眠をとる！
- ・睡眠不足は上司へ報告

また、イオン飲料の購入補助、塩飴の職場配布、作業中の給水タイム確保などを通じて、従業員の水分・塩分の摂取を促進。盛夏には労働組合が慰労も兼ねてイオン飲料を出勤ゲートで配布して熱中症予防を呼びかけています。

＜労働組合による熱中症予防の声かけ＞

